

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践/1Fと2Fの両ユニットへの出入りは自由で、エレベーター等も利用出来て、ホーム内の行動は制限していないが、ホーム玄関は施錠している。	最終的には終日玄関の鍵は解錠したい。段階を踏んで、最終目標に到達したい。	まずは、一日のうちの数時間、玄関の鍵を開けてみる。見守りに重点を置き、その時間をなるべく長く出来る様にする。	12ヶ月
2	7	虐待防止の徹底/職員のメンタルケアにも重点を置き、対策を講じる。	職員のメンタルケアにも留意し、メンタルを充実させた上で、入居者に適切なサービスを提供する。	本社におけるメンタルヘルスケアの研修を中心に、施設内においても、日常的にストレスを軽減出来る様な、声掛けや雰囲気作り、コミュニケーションを構築する。	12ヶ月
3	9	契約に関する説明と納得/契約内容に関する疑問点や、家族が疑問に思っている事を、掘り下げていく。	ユニットリーダーやケアマネにも契約内容の理解してもらえ様、カンファレンス等を通じて契約書等を理解出来る様にする。	入居促進活動や契約も管理者だけが行わず、人材育成の観点においても、ユニットリーダー等もその仕事をシェアし、その都度レクチャーを行い、その取り組みを他職員にも伝達していく。	12ヶ月
4	26	チームでつくる介護計画とモニタリング/より良い介護計画を作成するに当たり、職員は勿論のこと家族様や、医療関係者とも連携を取る必要がある。今後より良い計画を作成する為にも改善が必要とされる。	家族様より意見や要望の出しやすい書式の作成、職員のカンファレンス時にも同時に活用出来る様な物とする。	毎月のフロア別カンファレンスに際しても、項目別に課題を挙げ、本人本位の計画が作成出来る様な書式を導入し、その書式を最大限に活用し、家族様にもリクエストを頂きやすい様にアプローチを行う。	12ヶ月
5	35	災害対策/周辺の社会資源の更なる活用を行い、地域ぐるみの災害対策を行う。	町内の社会資源のみならず、消防署等の公的機関とも連携を取り、消防避難訓練の内容をより良い物にし、災害や火災等に備える。	災害時の避難優先順位の定期的な確認をフロア別のカンファレンスで行う。又実際に避難訓練を行う際も、運営推進会議でアドバイスをうけつつ、ひとりでも生存者が多くなる様なシステムを考え、訓練で実行する。	12ヶ月